

マスクの種類と着用のしかたについて

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
 吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
 吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2: 豊橋技術科学大学による実験値

「不織布マスク」が一番効果が高いとされています。

マスク着用の三つのお願い ーマスクの正しいつけ方ー

小松市教育委員会

1. マスクの表面を手で触らない

- ・ マスクの表面についたウイルスが手にうつる可能性があります。
- ・ 触ってしまった場合は手洗いをしましょう。
- ・ マスクは耳にかけるゴムの部分をもってはずしましょう。



2. サイズの合うマスクをしましょう

- ・ 口と鼻がしっかり隠れるように、鼻筋のクリップを形づくる。
- ・ マスクと皮膚の隙間をあけず、密着させましょう。



3. 鼻出しマスクや、あごかけマスクはしない

- ・ 鼻からのウイルスの侵入を防ぎましょう。
- ・ あごについたウイルスがマスクの内側につく可能性があります。

